

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

9月25日 (火)

三民区の警察署に行ってきました。所長さん、課長さん、外事担当の方等5人の方が対応してくれました。25日の手紙でもお知らせしたように、警察では警戒を続けてくれています。

学校の周囲の警戒を強めています。特に夜の1時から4時まで、パトカーを止めての巡回です。私が住んでいるマンションのすぐ近くにアメリカの領事機能を果たしているところがあります。アルカイダのリーダーが殺されたときの警戒は、24時間数日、そのビル前でパトカーが警戒していました。それに比べれば警戒はうすいでしょうが、台北の交流協会では、ペンキをかけられた事件があり、類似のことが起きないようにという配慮だと思われれます。

午前中に尖閣諸島の領海内に40隻あまりの台湾漁船が侵入した事件がありました。午前中かなり緊張したという報道がありました。

中学生を集めて話をしました。バス通学の生徒は問題がないのですが、一人で登下校する生徒に関して注意を促しました。(25日付けの「引き続き注意をしてください」を配布しました。)

9月26日 (水)

職員の報告によると、昨日の夜は警察の方が校門の前に来てくださったそうです。また、バスが到着する時間に合わせて警護に来てくれました。昨日の見回りは70回以上記録に残っています。感謝です。

午前中は、高雄師範大学附属にあいさつに行ってきました。中秋節のあいさつですが、ついでに、日本人学校の職員で師範大の授業を見に行きたいという願いもしてきました。台湾の学力を上げている牽引役の一つとして師範大学附属の役割は大きいらしいです。それぞれ、国の方針があって異なる内容、異なる方法をとっています。しかし、互いに学ぶことも多く研修に値するものと考えています。先日、新潟大学の准教授と伺ったときも、学校のシステムや人員の豊富さではどうしようもないのですが、工夫をすればここはok。でも、日本のやり方からすると、これはダメ、とか様々なヒントが得ることができました。日本の大学の学会でも台湾は注目を浴びています。

9月27日 (木)

鹽埕国中に中秋節最後のあいさつに行きました。日本人学校との交流を大変楽しみにし

ていて、昨年日本人学校にくることができなかつた生徒たちに校長先生が責められてしまったそうです。きっと、楽しかったとか、交流ができたとかをきいたんでしょう。

お昼休みに運動会の応援団結団式がありました。中庭でやりました。団長を中心にすごく大きな声が出ています。楽しみです。中学生も堂々と大きな声を出し抱負を語っていました。

NHKで報道されていました。熱中症は、すこし涼しくなっても起こるのだそうです。からだは、汗をかこうとしているのに、外がいつもより低いために発汗されずに体内に熱がこもってしまう。さらに、運動会など、みんなでやるときに我慢をするので、そこで銚子が悪くなることもあるのだそうです。

私も含めて風邪を引いている人が多いようです。先生方も少々の熱、のどが痛い、咳がでるなどの症状です。子ども達は、おなかに症状が出ている子もいるようです。

9月28日 (金)

教師節です。中国語の先生に聞いたら「台湾では、孔子廟でお祭(?)をしますよ。昔は、休みで孔子廟で牛の毛をとると知恵が増えるのです。」学校では何するの?と聞いたら、「先生ありがとう、って言うくらい」との返事。

中学部の修学旅行でのタイの学校を訪問をした日がちょうど「ワン(日) クルー(教師)」(教師の日)でした。子どもたちが、たちひざで先生の前に出て花を渡していました。卒業生もやってきて、先生方に感謝を伝えていました。日本人学校の生徒達は何がおきているか、最初さっぱりわからず、見ていました。途中で、八木沢さん(現地でコーディネーターをしてくれた方)が少し説明をしてくれました。この日は、授業らしい授業もないらしく、国歌を歌い、(何か)歌を歌い、お祈りを唱え、前述した儀式があり、私達との交流会をしてくれました。

今朝、「高雄日本人学校の先生方へ」とある子から先生方の代表として手紙を受け取りました。また、中秋節の贈り物ということで気をつかっていただきありがとうございます。(もちろん日本の習慣にはないので、紹介してだけです。)

NHKでの話。日本では、中国人と交流をされていて、御神輿と一緒に担いで、どちらも楽しんでるというレポートがありました。朝日新聞。中国人が日本の旅行をすごく楽しみにしている、今回の旅行が楽しみと不安、両方だとレポートされていました。

私の実感では、昨年春、上海に行ったとき、日本人だと分かっても特に変化はありませんでした。数年前、南京のいわゆるゆ南京大虐殺の記念館を見学に行ったとき、中で私が日本人だと分かっても何事も起きませんでしたし、感じませんでした。通常の場合での多くの方々は、私が体験したような感じだと思いたいのです。同様、日本の学校では、日本にいる多くの中国人子弟に対して、今回の領土問題があったとしても個人として見て付き合っているように感じます。